

# 海軍公報

第二千五百一號

昭和十年七月一日(月)

## 海軍大臣官房

### ○訓令

海軍省出仕海軍中佐 柳本 柳作  
海軍省軍務局ニ於テ服務スヘシ(請海軍大臣)

### ○辭令

海軍大學校ニ於ケル冶金學教授囑託  
東京帝國大學助教授 三嶋 徳七  
自今報酬ヲ贈與セス(請海軍省)

### ○雜款

○司令驅逐艦變更  
第六驅逐隊司令ハ去月二十六日司令驅逐艦ヲ雷ヨリ響ニ變更セリ

○司令潜水艦變更  
第二十九潜水隊司令ハ去月二十二日司令潜水艦ヲ伊號

第六十四潜水艦ヨリ伊號第六十一潜水艦ニ變更セリ

○電話架設  
廣海軍工廠(廣島縣賀茂郡廣村)  
吳(區)二三二八番(吳郵便局直通廠内交換特設)  
電話ニ接続ス

海軍公報 第二千五百一號 昭和十年七月一日

六五三

○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○七月一日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張▲、金剛▲、那智、春日、木曾、比叡、▽那珂

沖風、峯風、矢風、▽秋風、羽風、太刀風、帆風

▽伊二三▲

▽掃一、掃三、掃二、掃五、掃六、掃四、富士▲、尻矢、青島、知床、野島

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】

▽潮、隴、曙、▽天霧、朝霧、夕霧、呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、呂五八、呂五九、伊二四

【浦賀】

駿島

(時雨)

【館山】

澤風▲

【伊勢灣】

▽赤城

【函館】

大泊

【吳】

長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、加古、勝力、大鯨

▽夕顔、菊、葵、▽初雪、白雪、呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

【大阪】

(村雨)

【神戸】

(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】

平戸

【長濱】

▽呂二八、呂二七

【宿毛】

▽島海、高雄、摩耶、愛宕、▽青葉、衣笠、古鷹、▽神通、▽山良、長鯨

【舞鶴】

吾妻▲、川内

【佐世保】

加賀▲、霧島、宇治

(鴻)

梨、竹、樞、桃、柳、檜、楡、▽夕月、望月、菊月、三日月、▽陸月、彌生、如月、卯月

▽呂三二、▽呂三〇、呂三一、呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、▽伊六五、伊六六、伊六七、▽伊六〇、伊五九、伊六三、▽伊六四、伊六一、伊六二

千鳥、友鶴、敷島▲、早瀬

海軍公報 第二千五百一號 昭和十年七月一日



# 海軍公報

第二千五百二號

昭和十年七月二日(火)

## 海軍大臣官房

### ○辭令

○昭和十年七月一日

任海軍屬兼海軍書記

生田目 章

給七級俸

海軍屬兼海軍書記 塚田 福太郎

任海軍書記兼海軍屬

給二級俸

海軍主計兵曹長勳七等 大谷 彦四郎

任海軍書記

給四級俸

任海軍技手

給五級俸

任海軍技手

給六級俸

任海軍技手

給月俸七拾圓

川崎 松之

石井 義雄

山口 嘉一

海軍大臣官房勤務ヲ命ス

海軍事務官 齋藤 芳男

海軍省經理局勤務ヲ命ス

同 兒島 綱彦

海軍省經理局附ヲ命ス

海軍屬 生田目 章

海軍省建築局勤務ヲ命ス

海軍書記 塚田 福太郎

海軍艦政本部附ヲ命ス

海軍屬 塚田 福太郎

海軍省經理局附ヲ命ス

海軍書記 大谷 彦四郎

横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス

海軍技手 山口 嘉一

水路部附ヲ命ス

同 石井 義雄

吳海軍工廠附ヲ命ス

同 川崎 松之

佐世保海軍工廠附ヲ命ス

大阪帝國大學教授 淺田 常三郎

海軍技術研究所ニ於ケル造兵業務ヲ囑託シ報酬年額

海軍公報 第二千五百二號 昭和十年七月二日

五百圓ヲ贈與ス(以上請海軍省)

(各通)

海軍中佐 柳本 柳作  
同 高田 利種

第一課勤務ヲ命ス(請海軍省軍務局)

坂元 輝政

事變關係事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ  
待遇セラル

第三課附ヲ命ス(請海軍省經理局)

海軍屬 生田日 章

第三課附ヲ命ス(請同)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

横須賀警備戰隊司令官ハ去月二十九日旗艦ヲ比叡ヨリ  
那珂ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更

第五驅逐隊司令ハ去月二十七日朝風ヨリ松風ニ、第二  
十三驅逐隊司令ハ去月二十九日夕月ヨリ菊月ニ司令驅  
逐艦ヲ孰モ變更セリ

○ 正誤

○ 濟

去月二十一日辭令欄六一八頁下段五行目「海軍燃料廠  
勤務」ハ「海軍燃料廠附」ノ誤

○艦船所在

△印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○七月二日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛、那智、春日、木曾、比叡、那珂

沖風、峯風、矢風、秋風、羽風、太刀風、帆風

伊二三

掃一、掃三、掃二、掃四、掃五、掃六、富士、尻矢、青島、知床、野島

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、伊二四

【浦賀】

巖島

【伊勢灣】

有明、夕暮

【函館】

長門、矢矧、韓崎、日向、加古、勝力、大鯨

夕顔、菊、葵、初雪、白雪

呂一七、呂二八、呂一九、呂五一、呂五三、伊五七、伊五六、伊五八、伊六八、伊六

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、襟裳

最上、呂三三

【大阪】

伊六九、伊七一、伊七二、伊七三

【神戸】

平戸

【江田内】

呂二八、呂二七

【長濱】

鳥海、高雄、摩耶、愛宕、青葉、衣笠、古鷹、神通、山良、長鯨

【宿毛】

響、雷、電、漣、曉、狹霧、綾波、敷波、浦波、東雲、磯波、吹雪

【舞鶴】

吾妻、川内

【佐世保】

加賀、霧島、宇治、妙高、能登呂

梨、竹、樺、桃、柳、櫻、檜、夕月、望月、菊月、三月月、陸月、彌生、如月、卯月

呂三五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六五、伊六六、伊六七

千鳥、友鶴

敷島、早瀬

白霧、伊七〇

【長崎】羽黒、足柄、出雲

(三限)

【有明灣】山口、扶桑、伊勢、長良、名取、五十鈴、阿武隈、多摩、龍驤、

鳳翔、神威、初霜、初春、春日、若葉、長月、水無月、

皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、朝風、春風、旗風、松風、楡、柿、

伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、鳴戸

【馬公】汐風、夕風、島風、灘風

【鎮海】北上

【長門】葦、葦、菱、旅順、藤、葛、萩

【青島】球磨

【上海】磐手、鳥羽、對馬

【南京】浦風

【漢口】安宅、堅田

【長沙】保津

【重慶】比良

【馬尾】勢多、朝顏

【廈門】芙蓉、劉萱

【汕頭】蓮、蓬、蓼

【パイアス灣】嵯峨

【ホノルル】佐多

【羅府】洲崎

【作業地】駒橋

膠州、野風、神風、波風、澤風、潮

【演習地】白鷹、天龍、大井

白雲、薄雲、叢雲

呂六八、呂六三、呂六四、伊二一、伊二二、伊二三、伊五二、伊五一、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五

【航海中】鬼怒、若竹、吳竹、早苗

二見、六月二十九日漢口發上海

呂六六、呂六五、呂六七、六月三十日元山發

呂二六、六月三十日七尾灣發演習地

熱海、七月一日南京發上海

迅鯨、(一日相生發佐世保)

淀、(一日根室發幌筵)

八雲、淺間、(一日「ヤルト」發「トラック」)

常磐、八重山、(一日注文津發釜山)

初雁、真鶴、(一日注文津發蔚山)

問宮、(一日有明灣發宿毛)

天霧、朝霧、(二日橫須賀發博多)

室戸、(二日吳發佐世保)

(部内限三頁)

# 海軍公報

第二千五百三號

海軍大臣官房

昭和十年七月三日(水)

## ○通牒

官房第二八六九號

昭和十年七月三日

海軍次官

關係各廳長殿

選舉肅正ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ左記ノ通内務次官ヨリ照會有之候ニ付  
テハ貴部下選舉有權者ニ對シ其ノ趣旨普及方可然取計  
相成度

記

内務省發地第五二號

昭和十年六月二十五日

内務次官

海軍次官殿

選舉肅正ニ關スル件

選舉ノ肅正ヲ圖リ選舉界多年ノ弊竇ヲ芟除スルハ現下

ノ實狀ニ鑑ミ最モ緊要ノコトニ有之候處之ガ實ヲ舉グ  
ルガ爲ニハ獨リ嚴正ナル法令ノ運用ノミニ止ラズ之ト  
相俟テ選舉ニ對スル國民ノ自覺ヲ促シ公正ナル選舉觀  
念ノ普及徹底ヲ期スルヲ必要ト認メ差當リノ目標ヲ今  
秋多數府縣ニ於テ行フ府縣會議員總選舉及明春行ハル  
ベキ衆議院議員總選舉ニ置キ全國的ニ國民ノ一大覺醒  
運動ヲ起シ官民一致協力シテ所期ノ目的ヲ達スベク之  
ガ運動ノ源泉トシテ別紙勅令ニ基キ道府縣ニ選舉肅正  
委員會ヲ設置シ官民各方面ノ知識ト經驗トヲ聚メテ以  
テ選舉肅正上適切ナル方策ヲ樹立セシメ別紙要綱ノ如  
キ趣旨ニ依リ夫々各地方ノ實情ニ適應シタル選舉肅正  
運動ヲ爲スコトト相成候ニ就テハ右ノ趣旨御諒得ノ上  
貴省ニ於テモ本運動ノ趣旨ノ普及宣傳並ニ實行上ニ付  
可及的御協力相煩度尙地方ニ於ケル肅正運動ニ關シテ  
ハ格別ノ御便宜ヲ與ヘスル様特ニ御配意相煩度此段  
得貴意候

(別紙)

海軍公報 第二千五百三號 昭和十年七月三日



選舉肅正委員會令

(昭和十年五月八日 勅令第一一〇號)

第一條 衆議院議員選舉其ノ他公ノ選舉ノ肅正ヲ圖ル爲道府縣毎ニ選舉肅正委員會ヲ置キ道府縣ノ名ヲ冠ス

第二條 選舉肅正委員會ハ地方長官ノ監督ニ屬シ地方長官(警視總監ヲ含ム)ノ諮問ニ應ジテ前條ノ選舉ニ關スル弊害ノ防止、公正ナル選舉觀念ノ普及其ノ他選舉ノ肅正ニ關スル事項竝ニ衆議院議員選舉法第百四十條第三項及第四項ノ規定ニ依ル事項ノ實施ニ關スル事項ヲ調査審議ス

選舉肅正委員會ハ前項ノ事項ニ付關係行政廳ニ意見ヲ提出スルコトヲ得

第三條 選舉肅正委員會ハ會長一人及委員三十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ  
委員ハ左ニ掲グル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ選任ス  
一 政治家、實業家、教育家其ノ他學識經驗アル者  
二 官吏、待遇官吏及吏員  
衆議院議員ノ選舉權ヲ有セザル者(衆議院議員選舉法第七條第一項ニ規定スル者ヲ除ク)ハ委員タルコトヲ得ズ

第四條 委員ハ名譽職トス

委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中地方長官之ヲ解任スルヲ妨グズ

第五條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ地方長官ノ代理者其ノ職務ヲ代理ス

第六條 選舉肅正委員會ノ議事ニ關スル規則ハ地方長官之ヲ定ム

第七條 選舉肅正委員會ニ幹事及書記ヲ置ク應府縣ノ官吏ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス  
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第八條 選舉肅正委員會ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス但シ衆議院議員選舉以外ノ選舉ノ肅正ヲ圖ル爲特ニ必要ナル費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔ト爲スコトヲ得

附則

本令ハ昭和十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

選舉肅正ニ關スル要綱  
一、選舉肅正委員會

- イ、委員ノ數ハ一道府縣三十人以內ニ於テ各地方ノ實狀ニ應ジ適當ナル數ト爲スコト
- ロ、民間ヨリ選任スル委員ハ政治家、實業家、教育家ノ外例ヘバ教化團體其ノ他主要ナル團體ノ幹部、宗敎家、社會事業家、新聞社ノ代表等學識經驗アル者ノ中ヨリ適當ナル者ヲ選ブコト
- ハ、官公吏タル委員ハ凡ソ道府縣ノ總務部長、警察部長及學務部長、檢事、學校長、市町村長等ノ中ヨリ選任スルコト
- ニ、官吏中ヨリ選任スル委員數ハ凡ソ總數ノ四分ノ一程度ニ止ムルコト
- ホ、幹事ハ選舉事務主管課長、選舉取締事務主管課長、社會教育事務主管課長等ノ中ヨリ、書記ハ選舉事務主管課、選舉取締事務主管課、社會教育事務主管課勤務ノ官吏等ノ中ヨリ之ヲ命ズルコト
- 二、選舉肅正運動
- (1) 肅正運動ノ趣旨ノ宣傳
- 選舉肅正運動ヲ全國的且組織的ニ爲スハ今同始メテノ試ミナルヲ以テ努メテ各種ノ機會方法ヲ利用シ選舉肅正運動ノ趣旨ヲ普ク宣傳スルコト
- (2) 印刷物ノ配付
- 選舉ニ關スル正シキ觀念ヲ普及徹底セシムルノ爲適當ナル印刷物ヲ作成シ選舉人、選舉運動者等ハ勿論警察官吏、各種團體等ニ對シテモ適當ノ方法ヲ以テ配付スルコト(市町村講演會來聽者ニ對シ配付スルガ如キモ一方法タルベシ)
- (3) 講演會
- イ、道府縣樞要ノ場所數箇所ヲ選定シ適當ナル講師ヲ囑託シテ稍大規模ノ講演會ヲ開催スルコト
- ロ、市町村個々(小町村ハ二三箇町村ヲ合シ)ニ講演會ヲ開催スルコト此ノ場合ハ努メテ道府縣廳ノ官吏、警察官吏又ハ選舉肅正委員等ヲ出席セシムルコト
- (4) 懇談會
- イ、市町村講演會開催ノ際ヲ利用シ開催地市町村ノ市町村長、區長、各種團體長、其ノ他有力者ヲ參會セシメ懇談會ヲ開催シ選舉肅正上適當ナル方法ノ協議又ハ談合等ヲ爲スコト
- ロ、市町村懇談會ニ出席シタル者等ヲ中心トシテ各部落又ハ適當ノ區域ニ依リ部落懇談會ヲ開

催シ成ルベク總テノ選舉人ヲ之ニ參會セシムルコトトシ市町村懇談會ニ於テ協議又ハ談合アリタル事項ノ徹底竝ニ其ノ實行の細目ノ決定及其ノ勵行方法等ニ付詳細ナル協議申合ヲ爲サシムルコト

(5) 警察官吏講習會

必要ニ應ジ警察署長其ノ他選舉取締ニ任ズル警察署吏ニ對シ選舉肅正上必要ナル事項竝ニ之ガ趣旨徹底方法等ニ關スル講習會ヲ開催スルコト

○ 辭令

海軍中佐 高田 利種

兵食研究調査委員會委員ヲ命ス

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(請海軍省)

○ 雜款

○司令驅逐艦變更

第七驅逐隊司令ハ昨二日司令驅逐艦ヲ一時潮ヨリ艦ニ變更セリ

○軍用郵便所設置場所變更  
昭和七年官房第六五七號ニ依リ設置ノ第一海軍軍用郵便所設置所ヲ軍艦磐手ニ變更ス

○艦船所在

▲印ハ、ホテ  
指定ヲ要セズ

○七月三日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張▲、金剛▲、那智、春日、木曾、

比叡、▷那珂

沖風、峯風、矢風、□秋風、羽風、太刀風、

帆風

□伊二三▲

□掃一、掃三、掃二、掃四、掃五、掃六

富士▲、尻矢、青島、知床、野島、隠戸

【長浦】

殿島

□隴、曙

呂五四、呂五五、呂五六、□呂五七、

呂五八、呂五九、伊二四

【浦賀】

(時雨)

【伊勢灣】

▷赤城

□有明、夕暮

【函館】

大泊

【吳】

長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、加古、勝力、大鯨

□夕顔、菊、葵、□初雪、白雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、□伊五七、伊五六、伊五八、

伊六八、伊六

掃七、掃八、掃九、掃一○

石廊、攝津、襟裳

(最上)、(呂三三)

【大阪】

(村雨)、(伊七)

【神戸】

(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】

平戸

【長濱】

□呂二八、呂二七

【宿毛】

□鳥海、高雄、摩耶、愛宕、▷青葉、衣笠、

古鷹、▷神通、▷山良、長鯨

□響、雷、電、□漣、曉、狹霧、□綾波、敷波、

浦波、□東雲、磯波、吹雪

□伊五四、伊五三、伊五五、□伊六〇、

伊五九、伊六三、□伊六一、伊六二

伊六四

【舞鶴】

問宮

【真野灣】

(鴻)

【佐世保】

吾妻▲、川内

【真野灣】

鬼怒

□若竹、吳竹、早苗

【佐世保】

加賀▲、霧島、宇治、妙高▲、能登呂、迅鯨、

北上

梨、竹、樞、桃、柳、櫻、檜、□菊月、夕月、

望月、三月月、□睦月、彌生、如月、卯月、

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、

【長崎】羽黒▲、足柄、出雲  
 (三隈)  
 【有明灣】山口城、扶桑、△榛名、伊勢、△長良、名取、五十鈴、△阿武隈、△多摩、△龍驤、風翔、神威  
 △初霜、初春、子日、若葉、△長月、水無月、草月、文月、△疾風、追風、朝風、夕風、△松風、朝風、春風、旗風、△楡、柿、伊二、伊一、伊三、△伊五、伊四  
 【馬公】△沙風、夕風、島風、灘風  
 【鎮海】△呂六六、呂六五、呂六七  
 【釜山】△常磐、八重山  
 【旅順】△藤、葛、菘  
 【塘沽】薄  
 【青島】球磨  
 【上海】△磐手、鳥羽、對馬、二見、熱海  
 【南京】浦風  
 【漢口】△安宅、堅田、栗  
 【長沙】保津  
 【宜昌】比良

【重慶】勢多  
 【馬尾】△龍田、朝顔  
 【廈門】△芙蓉、刈萱  
 【汕頭】△蓮、蓬、蓼  
 【香港】嵯峨  
 【ホヽルル】佐多  
 【羅府】洲崎  
 【作業地】駒橋  
 △沼風、野風、神風、波風、澤風、潮、膠州、鶴見  
 【演習地】△天龍、△白鷹、大井、△白雲、薄雲、叢雲  
 △呂六八、呂六三、呂六四、△伊二、伊三、△伊五、伊五、伊一六、掃一三、掃一四、掃一五、朝日

【航海中】  
 淀 (一日根室發—幌筵へ)  
 △八雲、淺間 (一日「ヤルト」發—「トラック」へ)  
 △天霧、朝霧、夕霧 (二日横須賀發—博多へ)  
 梅 (二日九江發—漢口へ)  
 △董、葦、菱 (二日長箭發—鎮海へ)  
 鳴戸 (二日有明灣發—宿毛へ)

(部内限二頁)

0051

# 海軍公報

第二千五百四號

## ○ 雜款

○ 着任、退廳

新任 海軍省軍需局長 海軍機關大佐 細谷信三郎 七月一日着任

前任 海軍省軍需局長 海軍機關大佐 柳原博光 七月三日退廳

○ 正誤

七月二日辭令坂元輝政日附「六月二十八日二ハ」七月二日ノ誤



昭和十年七月四日(木)

海軍大臣官房

海軍公報 第二千五百四號 昭和十年七月四日

六六七

○艦船所在

指印ハホセ  
定ヲ要セズ

○七月四日午前十時調

【横須賀】陸奥、夕張、金剛、那智、木曾、比叡、

▷那珂

沖風、峯風、矢風、秋風、羽風、太刀風、

帆風、隴、曙

▷伊二三▲

掃一、掃三、掃二、掃四、掃五、掃六

富士、尻矢、青島、知床、隠戸

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】

嚴島 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九、伊二四

【浦賀】(時雨)

▷赤城

▷有明、夕暮

【函館】

▷大泊

長門、矢矧、韓崎、日向、加古、勝力、大鯨

▷夕顔、菊、葵、初雪、白雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、伊五七、伊五六、伊五八、

伊六八、伊六

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、襟裳

(最上)、(呂三三)、(伊七)

【大阪】

(村雨)

【神戸】(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】

平戸

【長濱】呂二八、呂二七

【宿毛】鳥海、高雄、摩耶、愛宕、青葉、衣笠、

古鷹、神道、山良、長鯨

響、雷、電、漣、曉、狹霧、綾波、敷波、

浦波、東雲、磯波、吹雪

伊五四、伊五三、伊五五、伊六〇、

伊五九、伊六三、伊六一、伊六二

伊六四

【舞鶴】

問宮、鳴戸

【真野灣】

若竹、吳竹、早苗

【直江津】

呂二六

【佐世保】

加賀、霧島、宇治、妙高、能登、迅鯨、

▷北上、常磐、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、菊月、夕月、

望月、三日月、陸月、彌生、如月、卯月、

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

呂六六、呂六五、呂六七、伊六五、

海軍公報 第二千五百四號 昭和十年七月四日

六六九

【長崎】伊六六、伊六七、  
 伊初雁、真鶴、千鳥、友鶴  
 敷島、早鞆、室戸  
 (白露)、(伊七〇)  
 羽黒、足柄、出雲  
 (三隈)  
 【有明灣】山口城、扶桑、▽榛名、伊勢、▽長良、名取、  
 五十鈴、▽阿武隈、▽多摩、▽龍驤、  
 鳳翔、神威  
 伊初霜、初春、子日、若葉、▽長月、水無月、  
 皐月、文月、▽疾風、追風、朝風、夕風、  
 伊松風、朝風、春風、旗風、▽楡、柿  
 伊伊二、伊一、伊三、伊伊五、伊四  
 【馬公】▽汐風、夕風、島風、灘風  
 【鎮海】▽葦、葦、菱  
 【旅順】▽藤、葛、萩  
 【塘沽】▽薄  
 【青島】球磨  
 【上海】▽磐手、鳥羽、對馬、二見、熱海  
 【南京】浦風  
 【漢口】堅山  
 栗、梅  
 【長沙】保津  
 【宜昌】比良  
 【重慶】勢多

【馬尾】▽龍田  
 朝顔  
 【廈門】▽芙蓉、刈萱  
 【汕頭】▽蓮、蓬、蓼  
 嵯峨  
 【香港】嶺南  
 【羅府】▽洲崎  
 【作業地】駒橋  
 沼風、野風、神風、波風、澤風、潮  
 膠州、鶴見  
 【演習地】▽天龍、▽白鷺、大井  
 白雲、薄雲、叢雲  
 伊呂六八、伊呂六三、伊呂六四、伊伊二一、  
 伊二三、伊伊五二、伊五一  
 朝日  
 【航海中】  
 淀 (一日根室發「帆筵」)  
 八雲、淺間 (二日「ヤルト」發「トラック」)  
 佐多 (一日「ホルル」發「横須賀」)  
 天霧、朝霧、夕霧 (二日横須賀發「博多」)  
 掃一六、掃一五 (三日演習地發「吳」)  
 掃一三、掃一四 (三日出本發「吳」)  
 野島、(三日横須賀發「吳」)  
 春日、(四日横須賀發「横濱」)  
 安宅 (四日漢口發「南京」)

(部内限一頁、同號外七頁)



# 海軍公報

第二千五百五號

海軍大臣官房

昭和十年七月五日(金)

## ○ 辭 令

林 正 義  
 成宮 芳三郎  
 宮崎 五郎  
 佐藤 寛六  
 枝窪 芳男  
 海輪 博太郎  
 渡邊 三郎  
 西上 義次  
 高桑 徳勇  
 田林 親孝  
 村上 直衛  
 加藤 貞雄  
 佐々木 鐵也  
 木曾 宗光  
 香月 正紀

(各通)

三村 幸平  
 山崎 武夫  
 前田 利之  
 宮地 徹  
 永瀬 正巳  
 佐々木 綱憲  
 高宮 篤  
 雨宮 三郎  
 宮坂 昌永  
 宇野 重雄  
 千葉 智正  
 丹野 正博  
 小池 禎一郎  
 保泉 紀典  
 渡邊 平造

海軍軍醫學生ヲ命ス(訪海軍省)  
 海軍事務官 兒島 綱彦  
 第三課勤務ヲ命ス(訪海軍省經理局)

海軍公報 第二千五百五號 昭和十年七月五日

六七一

第三課勤務ヲ命ス(請水路部)

海軍技手 山口 嘉一

○ 雜 款

○郵便物發送先

軍艦嚴島宛

七月 八

日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀局留置

其ノ後ハ

横須賀局留置

特務艦鳴戸宛

七月 八

日迄ニ到達見込ノモノハ

高知縣宿毛

同 十一

日迄ニ 同

大分縣別府

同 十四

日迄ニ 同

同 佐伯

同 十六

日迄ニ 同

山口縣徳山

其ノ後ハ追テ通知ス

○事務開始

上海駐在佐世保海軍經理部部員ハ本年七月一日同部監督ニ係ル第三艦隊所屬艦船部隊ノ計算證明書類ノ下検査及會計實況検査事務ヲ開始セリ

○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○七月五日午前十時調

【横須賀】陸奥、夕張、金剛、那智、木曾、比叡、

▶那珂

沖風、峯風、矢風、秋風、羽風、太刀風、

帆風、艦風、曙

伊二三▲

掃一、掃三、掃二、掃四、掃五、掃六

富士、尻矢、青島、知床、隠戸

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

嚴島

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九、伊二四

【横濱】

春日

【浦賀】

(時雨)

【伊勢灣】

▶赤城

伊有明、夕暮

【蟹田】

大泊

【岨筵】

淀

【吳】

長門、矢矧、韓崎、日向、加古、勝力、

大鯨、大井、天龍、白鷹

夕顔、菊、葵、初雪、白雪、白雲、

薄雲、叢雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊二一、伊二二、

伊五二、伊五一、伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八、伊六

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一六、

掃一五、掃一三、掃一四

石廊、攝津、襟裳、朝日

(最上)、(呂三三)、(伊七)

【大阪】

(村雨)

【神戸】

(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】

平戸

【宿毛】

鳥海、高雄、摩耶、愛宕、青葉、衣笠、

古鷹、神通、山良、長鯨

響、雷、電、漣、曉、狭霧、綾波、敷波、

浦波、東雲、磯波、吹雪

伊五四、伊五三、伊五五、伊六〇、

伊五九、伊六三、伊六一、伊六二

伊六四

鳴戸

【舞鶴】

吾妻、川内、鬼怒

(鴻)

【油谷灣】

天霧、朝霧、夕霧

【七尾】

呂二六

【小木】

吳竹

海軍公報 第二千五百五號 昭和十年七月五日

六七三

【赤泊】早苗  
 【直江津】若竹  
 【佐世保】加賀、霧島、宇治、妙高、能登呂、迅鯨、  
 北上、常磐、八重山  
 梨、竹、樞、桃、柳、櫻、檜、菊月、夕月、  
 望月、三日月、陸月、彌生、如月、卯月、  
 呂二五、呂三九、呂三〇、呂三一、  
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、  
 呂六六、呂六五、呂六七、伊六五、  
 伊六六、伊六七  
 伊初雁、真鶴、千鳥、友鶴  
 敷島、早靱  
 (白露)、(伊七〇)  
 【長崎】羽黒、足柄、出雲  
 (三隈)  
 【有明灣】山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、名取、  
 五十鈴、阿武隈、多摩、龍驤、  
 鳳翔、神威  
 初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、  
 皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、  
 松風、朝風、春風、旗風、楡、柿  
 伊二、伊一、伊三、伊五、伊四  
 【鎮海】葦、葦、菱  
 【旅順】藤、葛、萩  
 【塘沽】薄

【靈山沖】球磨  
 【上海】磐手、鳥羽、對馬、二見、熱海  
 【南京】浦風  
 【漢口】堅田、梅  
 【長沙】保津  
 【宜昌】比良  
 【重慶】勢多  
 【馬尾】龍田、朝顏  
 【廈門】芙蓉、刈萱  
 【汕頭】蓮、蓬、蓼  
 【廣東】嶺南  
 【作業地】駒橋  
 沼風、野風、神風、波風、澤風、潮  
 膠州、鶴見  
 【航海中】  
 八雲、淺間 (一日「ヤルト」發「トラック」)  
 佐多 (一日「ホルル」發「横須賀」)  
 野島 (三日「横須賀」發「吳」)  
 安宅 (四日「漢口」發「南京」)  
 汐風、夕風、島風、灘風 (四日「馬公」發「作業地」)  
 洲崎 (四日「羅府」發「ホルル」)  
 問宮 (四日「宿毛」發「有明灣」)  
 室戸 (五日「佐世保」發「西戸崎」)

(部内限二頁)

# 海軍公報 第二千五百六號

昭和十年七月六日(土)  
海軍大臣官房

## ○辭令

海軍書記兼海軍屬 塚田福太郎  
第二課勤務ヲ命ス(請海軍省經理局)

## ○雜款

○驅逐艦進水  
浦賀船渠株式會社ニ於テ建造中ノ驅逐艦五月兩本六日  
午前七時半進水セリ

## ○軍艦木會行動豫定

地名	着	發
横須賀	七月六日	七月六日
横須賀	九日	九日
横須賀	九日	九日
横須賀	十二日	十二日

## ○特務艦知床行動豫定

地名	着	發
横須賀	七月十九日	七月十六日
吳	二十二日	二十日
長崎	二十三日	二十三日
佐保	二十五日	二十四日
德山	二十九日	二十七日
吳	八月三日	八月一日
德山	八月四日	八月四日
佐保	八月九日	八月八日
横須賀	八月十四日	八月十四日

## ○佛國軍艦來航豫定

巡洋艦アリモウケ	着	發	記事
寄港地	七月三十日	八月六日	
大連	八月三十一日	九月三日	渤海方面ヨリ來航(食糧品補給)
下關	九月四日	十月十日	
敦賀	九月十日	十月十七日	
宮津	九月十七日	十月二十二日	
境	九月十七日	十月二十二日	

海軍公報 第二千五百六號 昭和十年七月六日

六七五

長崎	二十三日	十月十日	十月十日	同	二十三日迄	同	佐世保
横濱	十月十二日	二十三日	十月十日	同	二十六日迄	同	德山
神戶	二十四日	三十日	十月十日	同	三十一日迄	同	德山
高松	三十日	十一月一日	十月十日	同	八月三日迄	同	吳山
靱島	十一月一日	三日	十月十日	同	七月七日迄	同	德山
宮島	十一月三日	五日	十月十日	同	九月九日迄	同	佐世保
通報艦 デューモン デュルツイル			十月十日	同	其ノ後ハ		横須賀
寄港地	着	發					
神戶	九月一日	九月十六日	十月十日	同			
高松	十六日	十九日	十月十日	同			
宮島	十九日	二十三日	十月十日	同			
門司	二十三日	二十七日	十月十日	同			
別府	二十七日	十月一日	十月十日	同			
鹿兒島	十月二日	四日	十月十日	同			
長崎	十月四日	十日	十月十日	同			

○郵便物發送先  
軍艦木曾宛  
七月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀留置  
特務艦知床宛  
七月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀  
同十九日迄ニ同 吳  
同二十二日迄ニ同 長崎

記 事  
渤海方面ヨリ來航三隻送修所ニテ入渠

○正誤  
昨五日辭令欄中「高桑德男」ハ「高桑德男」ノ誤

同 二十三日迄 同  
同 二十六日迄 同  
同 三十一日迄 同  
八月三日迄 同  
同 七月七日迄 同  
同 九月九日迄 同  
其ノ後ハ 同  
佐世保 德山 吳山 德山 佐世保  
横須賀

○艦船所在

指<sup>△</sup>定<sup>△</sup>ヲ<sup>△</sup>要<sup>△</sup>セ<sup>△</sup>ズ

○七月六日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛、那智、春日、比叡、

▷那珂

沖風、峯風、矢風、秋風、羽風、太刀風、

帆風、隴、略

伊二三

掃一、掃三、掃二、掃四、掃五、掃六

富士、尻矢、青島、知床

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

嚴島

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九、伊二四

【浦賀】

(時雨)、(五月雨)

【伊勢灣】

▷赤城

有明、夕暮

【青森】

大泊

【幌筵】

淀

【吳】

長門、矢矧、韓崎、日向、加古、勝力、

大鯨、大井、天龍、白鷹

夕顔、菊、葵、初雪、白雪、白雲、

薄雲、叢雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊二一、伊二二、

伊五二、伊五一、伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八、伊六

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一六、

掃一五、掃一三、掃一四

石廊、攝津、襟裳、朝日

(最上)、(呂三三)、(伊七)

【大阪】

(村雨)

【神戸】

(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】

平戸

【徳山】

鶴見

【宿毛】

鳥海、高雄、摩耶、愛宕、青葉、衣笠、

古鷹、神通、山良、長鯨

響、雷、電、漣、曉、狹霧、綾波、敷波、

浦波、東雲、磯波、吹雪

伊五四、伊五三、伊五五、伊六〇、

伊五九、伊六三、伊六一、伊六二

伊六四

【舞鶴】

吾妻、川内、鬼怒

【新瀨】

若竹、吳竹、早苗

【佐世保】

加賀、霧島、宇治、妙高、能登、呂、迅鯨、

北上、常磐、八重山





# 海軍公報

第二千五百七號

海軍大臣官房

昭和十年七月八日(月)

## ○辭令

○昭和十年七月七日  
任海軍書記

勳七等功七級 今田 龜松

給五級俸

○昭和十年七月八日  
任海軍書記

天津 啓治郎

給六級俸

海軍書記 今田 龜松

吳海軍工廠勤務ヲ命ス(請海軍省)

天津 啓治郎

吳海軍軍需部附ヲ命ス 海軍書記 今田 龜松

依願免本官 同 大谷 龜松

故海軍航空特務少尉大谷利郎寡婦

一金貳千圓 但死亡者一時賜金 大谷 あり

故海軍二等航空兵曹乾 一父 乾 守馬

一金壹千圓 但死亡者一時賜金 乾 守馬

(通各)

故海軍三等航空兵曹齋藤忠治父

一金壹千貳百圓 但死亡者一時賜金 齋藤 豊吉

同 但死亡者一時賜金 西谷兵一母

一金壹千圓 但死亡者一時賜金 西谷 ユト

右大正二年勅令第九號及大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ之ヲ給與ス

故海軍三等兵曹磯 正勝父 磯 周藏

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金壹千圓ヲ給與ス

故海軍一等水兵高濱幸吉母 高濱 ゆら

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金九百圓ヲ給與ス

(以上請同)

## ○雜款

○正誤  
本八日號外七頁下段十二行目末尾ニ「町」ヲ脱シ、同別表様式第一及第二欄外「六月八日」ハ「七月八日」ノ誤

海軍公報 第二千五百七號 昭和十年七月八日

六七九

○艦船所在

指印ハハホフ  
定ヲ要セズ

○七月八日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張▲、金剛▲、那智、春日  
沖風、峯風、矢風、▽秋風、羽風、太刀風、  
帆風、▽朧、略

▽伊二三▲

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

富士▲、尻矢、知床

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

巖島  
呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、  
呂五八、呂五九、伊二四

【浦賀】(時雨)、(五月雨)

【館山】▽那珂、比叡、木曾

【伊勢灣】▽赤城

▽有明、夕暮

【大湊】

大泊  
長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、加古、勝力、  
大鯨、大井、▽天龍、▽白鷹、

▽夕顔、菊、葵、▽初雪、白雪、▽白雲、  
薄雲、叢雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六八、

呂六三、呂六四、▽伊二一、伊二二、  
▽伊五二、伊五一、▽伊五七、伊五六、  
伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一六、  
掃一五、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)、(伊七)

【大阪】(村雨)

【神戸】(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】平戸

【宿毛】▽鳥海、高雄、摩耶、愛宕、▽青葉、衣笠、  
古鷹、▽神通、▽山良、長鯨

▽響、雷、電、▽漣、曉、狹霧、▽綾波、敷波、  
浦波、▽東雲、磯波、吹雪

▽伊五四、伊五三、伊五五、▽伊六〇、  
伊五九、伊六三、▽伊六一、伊六二、  
伊六四

【別府】▽天霧、朝霧、夕霧

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒▲

呂二六

(鴻)

【佐世保】加賀▲、霧島、宇治、妙高▲、能登▲、迅鯨、  
▽北上、▽常磐、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、楡、▽菊月、夕月、

鳴戸

▽六八一

望月、三日月、陸月、彌生、如月、卯月、  
呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、  
呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、  
呂六六、呂六五、呂六七、伊六五、  
伊六六、伊六七

初雁、真鶴、千鳥、友鶴  
敷島、早鞆、鶴見  
白露、(伊七〇)  
羽黒、足柄、出雲  
(三隈)

【有明灣】山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、名取、  
五十鈴、阿武隈、多摩、龍驤、  
鳳翔、神威

初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、  
臯月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、  
松風、朝風、春風、旗風、楡、柿  
伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊六  
間宮

【馬公】龍田  
汐風、夕風、島風、風灘

【鎮海】葦、菱  
室戸

【旅順】藤、菘、萩、薄

【青島】球磨

【上海】磐手、島羽、對馬、二見、熱海

【南京】安宅  
浦風

【漢口】堅田  
栗、梅

【長沙】保津

【宜昌】比良

【重慶】勢多

【馬尾】朝顔

【廈門】芙蓉、刈萱

【汕頭】蓮、蓬、蓼

【廣東】嵯峨

【トラック】八雲、淺間

【作業地】駒橋、淀  
沼風、野風、神風、波風、澤風、湖  
膠州、青島、隱戸

【航海中】  
佐多 (一日「ホノルル」發—横須賀へ)  
洲崎 (四日「羅府發」—「ホノルル」へ)  
襟裳 (六日「吳發」—「オハ」へ)  
若竹、吳竹、早苗 (七日「輪島發」—舞鶴へ)  
野島 (七日「吳發」—佐世保へ)

(號外八頁、同別表二葉、部内限一頁)

海軍公報 號外

昭和十年七月八日(月)  
海軍大臣官房

○令 達

官房第二八七七號

昭和十年海軍國勢調査手續左ノ通定ム

昭和十年七月五日

海軍大臣



昭和十年海軍國勢調査手續

第一條 昭和十年國勢調査施行細則第九條ノ規定ニ依ル海軍ノ艦船(艦船令ニ依ル艦艇、特務艦及海軍徴備船ヲ謂フ以下同ジ)部隊其ノ他各部ニ於テ行フ國勢調査ニ關シテハ本手續ノ定ムル所ニ依ル

第二條 國勢調査ハ昭和十年十月一日午前零時ニ於テ艦船部隊其ノ他各部ニ在ル者ニ就キ之ヲ行フ

第三條 艦船ノ調査ハ特定ムル場合ヲ除クノ外其ノ所在ニ拘ラズ之ヲ行フ

第四條 艦船部隊其ノ他各部ニ屬スル特務艇、雜役船及舟艇ノ調査ハ各其ノ屬スル艦船部隊其ノ他各部ノ

調査ニ之ヲ編入ス

第五條 海軍ノ官舎及之ニ準ズル所ノ調査ハ其ノ所在ノ市町村ニ於テ之ヲ行フモノトス

第六條 左ニ掲グル者ハ十月一日午前零時其ノ所屬艦船部隊其ノ他各部ニ現在スルモノト看做ス

- 一 衛兵、見張所員、信號所員等トシテ所屬艦船部隊其ノ他各部外ニ在ル者
- 二 演習、教練等ノ爲所屬艦船部隊其ノ他各部外ニ在ル者
- 三 前二號ノ外所屬艦船部隊其ノ他各部外ニ在リテ何レノ世帯ニ於テモ申告セラルルコトナク十月五日午前零時迄ニ歸投シタル者
- 四 十月一日午前零時前ニ於テ所屬艦船部隊其ノ他各部外ニ派遣セラレ又ハ旅行シ何レノ世帯ニ於テモ申告セラレザルコトヲ明ニ豫期シ得ル者
- 第七條 十月一日午前零時夜勤宿直等ノ爲艦船部隊、學校(海軍大學校ヲ含マズ)、病院ヲ除クノ外各部内

ニ在ル者ニシテ十月一日中ニ自己ノ世帯ニ入ル者ハ市町村ニ於テ之ヲ調査スルモノトス外來者ニシテ十月一日中ニ自己ノ世帯ニ入ル者亦同ジ

第八條 艦船部隊其ノ他各部ニ於ケル調査ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ行フベシ

一 所轄長(徵備艦船長ヲ含ム以下同ジ)ハ調査委員長トナリ左ノ標準ニ依リ調査委員ヲ設ケ之ニ必要ナル委員附ヲ附ス

二 調査委員ハ調査委員長ノ命ヲ承ケ調査ニ關スル事務ヲ行フ

三 所轄長ハ調査及申告書ノ調製ニ關シ便宜受持區分ヲ定メ之ヲ行フ

四 所轄長ハ昭和十年十月二十日迄ニ調査申告書ヲ直接海軍大臣ニ提出スベシ

第九條 所屬長官ハ部下艦船部隊其ノ他各部ノ調査ノ執行ヲ指揮監督シ調査ヲ確實ナラシムベシ

第十條 國勢調査特別申告書用紙(別表様式第一)及送致目錄用紙(別表様式第二)ハ之ヲ配付ス

所屬長官ハ國勢調査特別申告書用紙ノ所要枚數ヲ概

ネ百分ノ十ノ豫備ヲ加ヘ部下艦船部隊其ノ他各部毎ニ別記シ七月二十日迄ニ海軍省人事局ニ請求スベシ

第十一條 所轄長ハ天災事變ノ爲十月五日迄ニ調査ヲ施行シ又ハ之ヲ完結スルコト能ハザルトキハ其ノ旨速ニ海軍大臣ニ電報スベシ

第十二條 本手續ハ鎮海、馬公及旅順要港部竝ニ其ノ所屬艦船部隊其ノ他各部ニ之ヲ適用セズ

前項ノ艦船部隊其ノ他各部ニ於テ該地方ノ國勢調査ノ規程ニ依リ調査ヲ行フヲ要スルトキハ所屬長官ハ其ノ手續ヲ定メ之ニ應ズベシ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨豫メ海軍大臣ニ報告スベシ

(別表二葉添)

官房第二八八七號ノ二

國勢調査ノ施行ヲ簡單正確ナラシムル爲本年十月一日午前零時ニ於テ艦船部隊、學校(海軍大學校ヲ含マズ)、病院ニ屬スル人員ヲ各其ノ所屬艦船部隊、學校、病院内ニ在ラシムベシ但シ艦船部隊、學校、病院内ニ居住ノ設備ヲ有セザル者又ハ公務其ノ他已ムヲ得ザル事故アル者ハ此ノ限ニ在ラズ

昭和十年七月五日

海軍大臣

○ 通 牒

官房第二八八七號ノ三

昭和十年七月五日

海 軍 次 官

各 廳 長 殿

國勢調査ニ關スル件申進

本年十月一日施行セラルベキ國勢調査ノ實施ニ方リテ  
ハ左記各號ニ依リ處置セラレ度

記

一、調査ヲ簡易確實ナラシムル爲特ニ左記事項ニ付注  
意スルコト

イ、各所屬ノ人員ニシテ其ノ現在スル者ハ其所屬  
ニ於テ之ヲ調査シ市町村ノ調査ト重複セシメザ  
ルコト

ロ、艦船部隊、學校（海軍大學校ヲ含マズ）、病院  
以外ノ各部ニ於テハ十月一日午前零時ニ於テ成  
ル可ク必要以外ノ人員ヲ現在セシメズ又同時刻  
ニ於テ現在シタル者ハ十月一日中ニ自己ノ世帯  
ニ入ラシムルコト

ハ、海軍國勢調査手續第五條ニ依ル區域ノ調査ニ付

テハ市町村ノ調査員ト連絡ヲ保チ便宜ヲ與フル  
コト

ニ、海軍ノ調査區域外ニ在ル射的場、水源地、淨水  
地又ハ墓地等ノ番人若ハ之等ニ準ズベキ者ノ世  
帯ニ對シテハ豫メ其ノ所在ノ市町村ト協議シ調  
査ニ脱漏重複ナカラシムルコト

ホ、申告書ハ一調査區域毎ニ番號順序ニ之ヲ編綴シ  
送致目錄ヲ附スルコト

二、昭和十年海軍大演習ノ爲一時艦船部隊其ノ他ニ勤  
務シ後復歸スル者（統監部職員ヲ含ム）ニ在リテ  
ハ十月一日午前零時本人ノ屬スル原所轄ニ現在ス  
ルモノトシテ原所轄ニ於テ調査ヲ行フコト

昭和十年海軍大演習部内視察見學者（在郷海軍士  
官ヲ除ク）ノ調査モ亦前項ニ同ジ

昭和十年海軍大演習部外視察見學者（在郷海軍士  
官ヲ含ム）ニ在リテハ十月一日午前零時本人ノ現  
在スル艦船部隊（特設部隊ニ在リテハ其所屬スル  
艦隊、鎮守府又ハ要港部司令部）ニ於テ調査ヲ行  
フコト

前三項ノ規定ニ依リ調査スベキ所轄ガ海軍ノ調査  
區域トシテ設定セラレザル場合ト雖モ該所轄ニ於

海軍公報 號外

テ調査申告スルヲ要ス

三、應召中ノ者ニ在リテハ十月一日午前零時本人ノ現在スル艦船部隊其ノ他ニ於テ調査スルコト但シ昭和十年海軍大演習特設部隊ニ應召中ノ者ハ士官及豫備員ニ在リテハ海軍省人事局、特務士官以下ニ在リテハ本人ノ在籍鎮守府ノ海軍人事部ニ於テ夫々調査申告スルコト

四、國勢調査期日ニ方リ不測ノ支障ヲ發生シ萬一調査ノ正確ヲ缺キ又ハ規定期間内ニ調査ヲ完結シ得ザルガ如キコトナキ様調査實施期日前ニ於テ便宜調査ヲ豫習セシムルコト

五、所轄長ハ豫メ調査主務者ヲ指定シ調査後可成速ニ國勢調査ノ準備、實施、經過、所見等ニ付所屬長官ニ報告書ヲ提出スルコト

六、所屬長官ハ前號ニヨリ部下艦船部隊其ノ他各部ヨリ提出シタル事項ニ付其ノ摘要ヲ海軍大臣ニ提出スルコト

官房第二八七號ノ四

昭和十年七月五日

各廳長殿

海軍省 副官

國勢調査ニ關スル件通牒

今般海軍國勢調査手續發布セラレ候處海軍ノ調査區域及申告書記入心得左記ノ通ニ有之候

追テ駐滿海軍部、臨時海軍防備隊、上海特別陸戰隊、同漢口分遣隊ハ在外部隊トシテ特ニ官房第二八八七號海軍國勢調査手續ニ依リ調査スベキモノニ付爲念

記

一、調査箇所

海軍艦船全部(第三艦隊ヲ含ム)

東京府所在

海軍軍醫學校

海軍經理學校

東京軍法會議

東京海軍無線電信所

横須賀海兵團東京海軍軍樂隊派遣所

父島海軍無線電信所

京都府所在

舞鶴要港部病院

舞鶴防備隊

舞鶴海軍無線電信所

舞鶴要港部軍法會議  
 海軍機關學校  
 神奈川縣所在  
 橫須賀海兵團  
 橫須賀防備隊  
 橫須賀海軍航空隊  
 橫須賀海軍病院  
 海軍砲術學校  
 海軍水雷學校  
 海軍通信學校  
 海軍航海學校  
 海軍工機學校  
 橫須賀海軍無線電信所（水ヶ尻方位測定所勤務ノ者ヲ含ム）  
 橫須賀海軍無線電信所六會送信所  
 橫須賀海軍刑務所  
 東京海軍無線電信所橋村受信所  
 長崎縣所在  
 佐世保海兵團  
 佐世保防備隊  
 佐世保海軍病院

佐世保海軍航空隊  
 大村海軍航空隊  
 佐世保海軍無線電信所  
 佐世保海軍無線電信所針尾送信所  
 佐世保海軍刑務所  
 千葉縣所在  
 館山海軍航空隊  
 東京海軍無線電信所船橋送信所  
 茨城縣所在  
 霞ヶ浦海軍航空隊  
 霞ヶ浦海軍航空隊友部分遣隊  
 静岡縣所在  
 湊海軍病院  
 青森縣所在  
 大湊要港部司令部  
 大湊要港部港務部  
 大湊海軍航空隊  
 大湊防備隊  
 大湊海軍無線電信所（大湊方位測定所勤務ノ者ヲ含ム）



0069-2

廣島縣所在

- 吳海兵團
- 吳防備隊
- 吳海軍病院
- 吳海軍航空隊
- 海軍兵學校
- 海軍潜水學校
- 吳海軍無線電信所
- 吳海軍無線電信所燒山送信所
- 吳海軍刑務所
- 大分縣所在
- 龜川海軍病院
- 佐伯海軍航空隊
- 北海道所在
- 宗谷海軍無線電信所
- 宗谷海軍無線電信所幕別送信所
- 朝鮮所在「朝鮮ノ國勢調査ノ規程ニ依リ調査スベキモノ」
- 鎮海要港部司令部
- 鎮海要港部港務部
- 鎮海要港部病院

鎮海防備隊

- 鎮海海軍無線電信所
- 鎮海要港部軍法會議
- 臺灣所在「臺灣ノ國勢調査ノ規程ニ依リ調査スベキモノ」
- 馬公要港部司令部(兵舎)
- 馬公要港部病院
- 馬公防備隊
- 鳳山海軍無線電信所受信所
- 鳳山海軍無線電信所送信所
- 馬公海軍無線電信所
- 關東州所在「關東州ノ國勢調査ノ規程ニ依リ調査スベキモノ」
- 旅順要港部司令部
- 旅順要港部港務部
- 旅順要港部病院
- 旅順海軍無線電信所
- 在外部隊
- 駐滿海軍部
- 臨時海軍防備隊
- 上海海軍特別陸戰隊

上海海軍特別陸戰隊漢口分遣隊

二、申告書記入心得

- (一) 文字ハ明瞭ニ墨又ハ黒色「インキ」ニテ記入ス
- (二) 同一記入事項ヲ反復スル場合アリテモ「同」、「同右」、「同上」等ト記入スルコトナク繰返シ記入ス但シ木印等ヲ使用スルモ妨ゲズ
- (三) 用紙ノ餘白ニハ斜線ヲ引クコトナク空欄トス
- (四) 誤記ヲ訂正スル場合ハ線ヲ引キテ抹消シ其ノ右傍ニ正シク記入ス
- (五) 「名稱」ノ欄ニハ「軍艦」、「驅逐艦」、「海兵團」等ト各枚毎ニ記入ス
- (六) 「所在地」ノ欄ニハ左ノ區分ニ依リ府縣郡市區町村大字小字地番號ヲ各枚毎ニ記入ス
  - (イ) 陸上部隊其ノ他各部ニ在リテハ其ノ所在地
  - (ロ) 艦隊所屬ノ艦船ニ在リテハ所在ノ如何ニ拘ラズ其ノ在籍鎮守府ノ所在地
  - (ハ) 艦隊所屬以外ノ艦船ニ在リテハ所在ノ如何ニ拘ラズ其ノ所屬鎮守府又ハ要港部ノ所在地
- (七) 「枚の内第、號」ノ欄ニハ艦船部隊其ノ他各部毎ニ「、、枚の内第、號」ト記入ス
- (八) 「氏名」ノ欄ニハ概ネ官等級ノ順序ニ氏名ノミ

- (九) ヲ記入ス
  - 「男女の別」ノ欄ニハ男ハ「男」、女ハ「女」ト記入ス
  - (一〇) 「出生の年月日」ノ欄ニハ實際生レタル年月日ヲ記入ス
  - (二) 外國人ニ在リテハ其ノ本國ノ曆ニ依リ年月日ヲ記入スルモ妨ゲズ
  - (三) 「配偶の關係」ノ欄ニハ未ダ結婚セザル者ニ在リテハ「未」、現ニ妻又ハ夫アル者ニ在リテハ「有」、死別又ハ離別シテ現ニ獨身ノ者ニ在リテハ「死別」又ハ「離別」ト記入ス
  - (四) 「居住地」ノ欄ニハ左ノ區分ニ依リ府縣郡市區町村名(内地外ハ單ニ朝鮮、臺灣、樺太、關東州、南洋群島又ハ外國)ヲ記入ス但シ所在地ト同シ場合ニハ斜線ヲ引ク
  - (イ) 本人ノ所屬ガ艦隊所屬ノ艦船ナルトキハ其ノ艦船ノ在籍鎮守府ノ所在地
  - (ロ) 本人ノ所屬ガ艦隊所屬以外ノ艦船ナルトキハ其ノ艦船ノ所屬鎮守府又ハ要港部ノ所在地
  - (ハ) 本人ノ所屬ガ艦船以外ナルトキハ其ノ所屬ニ自巳ノ世帯ヨリ通勤スル者ニ在リテハ自宅、然ラ

海軍公報 號外

ザル者ニ在リテハ其ノ所屬部隊其ノ他各部ノ所在地

(二) 應召中ノ者及昭和十年海軍大演習部外視察見學者(在郷海軍士官ヲ含ム) 其他部外者ニ在リテ

ハ自宅ノ所在地

(ホ) 刑ノ執行中ノ者ニ在リテハ服役刑務所ノ所在地

(三) 「調査委員長檢印」ハ用紙二枚以上ヲ用ヒタル

トキハ最終ノ用紙ニノミ檢印ス

(四) 「調査委員氏名」ハ用紙二枚以上ヲ用ヒタル

キハ最終ノ用紙ニノミ記入ス但シ捺印ノ欄ニハ各枚毎ニ捺印スルヲ要ス

海人第四號ノ八三

昭和十年七月五日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

國勢調査ニ關スル件申進

今般官房第二八八七號ノ三ヲ以テ海軍次官ヨリ申進相成候國勢調査事務取扱中第二號及第三號ニ該當スル者ノ調査ニ關シテハ本人ノ屬スル原所轄ト大演習中一時勤務スル所轄及自己ノ世帯(市町村ノ調査)相互間ノ

調査ニ於テ脱漏重複ノ虞多キヲ以テ特ニ御留意ノ上調査ニ正確ノ萬全ヲ期セラルル様御取計相成度依命  
追テ官房第二八八七號ノ三第二號第四項ノ調査ニ要スル申告書用紙及送致目錄用紙ノ所要枚數ハ各廳毎ニ概ネ百分ノ十ノ豫備ヲ加ヘ九月五日迄ニ直接當局ヘ請求相成度



昭和十年國勢調査特別調査區域送致目錄 (海軍省用)

特別調査區域  
 所在地  
(經隊ノ艦船ハ其ノ在籍鎮守府所  
 在地其ノ他ノ艦船ハ其ノ所屬鎮  
 守府又ハ要港部所在地)  
 府 縣 郡 市 村町區

合 計	特別申告書ニ依ルモノ	一般申告書ニ依ルモノ	申告書		備 考
			通 數	枚 數	
			男	女	
			計		

昭和十年 月 日

調査委員長

注 意

- 一 本表ハ一特別調査區域毎ニ調査委員長之ヲ作製シ申告書ニ添附スベシ
- 二 演習教練等ノ爲部隊ノ一部ガ當該特別調査區域外ニ在リタル場合ト雖モ之ヲ本表ニ含マシムベシ

(昭和十年六月八日公報號外別表)

0073

# 海軍公報 第二千五百八號

昭和十年七月九日(火)  
海軍大臣官房

## ○通牒

航本第二〇八四號  
海軍航空機(機體)基本部品制式中左ノ通改正ス  
昭和十年七月八日  
海軍航空本部長

一、海空 No. 87 單一發條座金表中

符號	C	符號	C
A	2.0	A	3.2
B	2.4	B	3.2
C	3.0	C	3.7
D	3.4	D	4.0
E	4.0	E	5.0
F	4.2	F	5.0
G	4.7	G	5.0
H	5.0	H	5.0
J	5.9	J	6.0
K	6.4	K	6.0

「材質=0.55炭素鋼(S、6)」ヲ「材質=0.45炭素鋼(S、5)」ニ改ム

一、海空 No. 88 一發條座金中「材質=0.55炭素鋼(S、5)」ニ改ム

海軍公報 第二千五百八號 昭和十年七月九日

(S、6)」ヲ「材質=0.45炭素鋼(S、5)」ニ改ム  
一、海空 No. 94 發條管管中ノ管中「鋼管」ニ改ム  
ヲ「鋼管」ニ改ム

## ○訓令

東京刑事地方裁判所所屬辯護士 坂井喜次郎  
海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(請海軍大臣)

## ○辭令

海軍書記 天津啓治郎

依願免本官(請海軍省)

## ○雜款

### ○潜水艦進水

吳海軍工廠ニ於テ建造ノ伊號第七潜水艦本月三日午前

0075

九時三十分進水セリ

海軍公報 第二千五百八號 昭和十年七月九日

六八四

○艦船所在

指印ハホフ  
定ヲ要セズ

○七月九日午前十時調

【横須賀】陸奥、夕張▲、金剛▲、那智、春日、▽那珂、

木曾

沖風、峯風、矢風、▽艦、曙

▽伊二三▲、伊二四

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

富士▲、尻矢、知床

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

嚴島

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

呂五八、呂五九

【浦賀】(時雨)、(五月雨)

【館山】比叡

【大湊】大泊

長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、加古、勝力、

大鯨、大井、▽天龍、▽白鷹

▽夕顔、菊、葵、▽初雪、白雪、▽白雲、

薄雲、叢雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六八、

呂六三、呂六四、▽伊二二、伊二二、

▽伊五二、伊五一、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一六、

掃一五、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)、(伊七)

【大阪】(村雨)

【神戸】(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】平戸

【宿毛】▽鳥海、高雄、摩耶、愛宕、▽青葉、衣笠、

古鷹、▽神通、▽山良、長鯨

▽響、雷、電、▽漣、曉、狹霧、▽綾波、敷波、

浦波、▽東雲、磯波、吹雪

▽伊五四、伊五三、伊五五、▽伊六〇、

伊五九、伊六三、▽伊六一、伊六二

伊六四

【舞鶴】鳴戸

吾妻▲、川内、鬼怒▲

▽若竹、吳竹、早苗

呂二六

【佐世保】(鴻)加賀▲、霧島、宇治、妙高、能登呂、迅鯨、

▽北上▲、▽常磐、八重山

梨、竹、樵、桃、柳、檜、楡、▽菊月、夕月、

望月、三日月、▽睦月、彌生、如月、卯月



呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、  
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、  
 呂六六、呂六五、呂六七、伊六五、  
 伊六六、伊六七  
 〔初雁、真鶴、千鳥、友鶴  
 敷島、早稲、鶴見、野島  
 (白露)、(伊七〇)  
 羽黒、足柄、出雲  
 (三隈)  
 〔長崎〕  
 〔有明灣〕山口、扶桑、▽榛名、伊勢、▽長良、名取、  
 五十鈴、▽阿武隈、▽多摩、▽龍驤、  
 鳳翔、神威  
 〔初霜、初春、子日、若葉、▽長月、水無月、  
 皐月、文月、▽疾風、追風、朝風、夕風、  
 松風、朝風、春風、旗風、▽檜、柿  
 伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊六  
 間宮  
 〔馬公〕▽龍田  
 〔海〕▽夕風、夕風、島風、風灘  
 〔鎮〕▽葦、葦、菱  
 〔旅順〕▽藤、葛、萩、薄  
 〔青島〕球磨  
 〔上海〕▽磐手、鳥羽、對馬、二見  
 〔南京〕▽安宅

〔漢口〕浦風  
 堅田  
 栗、梅  
 〔長沙〕保津  
 〔宜昌〕比良  
 〔重慶〕勢多  
 〔馬尾〕朝顔  
 〔廈門〕芙蓉、刈萱  
 〔汕頭〕蓮、蓬、蓼  
 〔廣東〕嵯峨  
 〔トラック〕八雲、淺間  
 〔作業地〕駒橋、淀  
 膠州、青島、隱戸  
 〔航海中〕  
 佐多 (一日「ホノルル」發—横須賀へ)  
 洲崎 (四日羅府發—「ホノルル」へ)  
 襟裳 (六日吳發—「オハ」へ)  
 熱海 (八日上海發—南京へ)  
 赤城、▽有明、夕暮 (八日伊勢灣發—宿毛へ)  
 天霧、朝霧、夕霧 (八日別府發—横須賀へ)  
 秋風、羽風 (八日横須賀發—館山へ)  
 帆風 (八日横須賀發—相模灘へ)

(部内限一頁、同號外七頁、同附録五頁)

# 海軍公報

第二千五百九號

昭和十年七月十日(水)

海軍大臣官房

## ○ 辭 令

海軍中尉 山崎 啓爾  
軍令部ニ於ケル事變關係編纂事務ヲ囑託ス(註海軍省)

海軍燃料廠ニ於ケル燃料研究業務囑託  
(通各) 藤本 春季  
吳海軍工廠ニ於ケル事變關係水雷業務囑託 藤城 藤四郎  
自今部内限奏任官待遇トス(註同)

## ○ 雜 款

○司令潜水艦變更  
第十八潜水隊司令ハ本月五日司令潜水艦ヲ伊號第五十四潜水艦ヨリ伊號第五十五潜水艦ニ變更セリ  
○在外武官宿所

米國駐在 海軍少佐 大前敏一  
Lieut.-Commander T. Omae, I. J. N.,  
% Mrs. Mary E. Foley,  
No. 233 S. 41st Street,  
W. Phila., Pa.,  
U. S. A.

退役海軍機關少佐正六位勳四等松島純次郎昨九日死去、本十日午後一時ヨリ東京市四谷區永住町二自宅ニ於テ佛式ニ依リ葬儀、同二時ヨリ告別式執行

○艦船所在

▲印ハハホ  
指定ヲ要セズ

○七月十日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張▲、金剛▲、春日、▷那珂▲、比叡、那智

沖風、峯風、矢風、▽臈、曙

▽伊二三▲、伊二四

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

富士▲、尻矢、知床

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】▽秋風、羽風、帆風、太刀風

▽呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、呂五八、呂五九

【浦賀】(時雨)、(五月雨)

【館山】木曾

大泊

【大湊】

長門▲、矢矧、韓崎、日向▲、加古、勝力、大鯨、大井、▷天龍、▷白鷹

▽夕顔、菊、葵、▽初雪、白雪、▽白雲、薄雲、叢雲

▽呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六八、呂六三、▽呂六四、▽伊二二、伊二二、▽伊五二、伊五一、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一六、掃一五、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)、(伊七)

【大阪】(村雨)

【神戸】(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】平戸

【別府】▷赤城

▽有明、夕暮

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒▲

▽若竹、吳竹、早苗

呂二六

(鴻)

【佐世保】加賀▲、霧島、宇治、妙高、能登呂、迅鯨、

▽北上▲、▷常磐、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、楡、▽菊月、夕月、望月、三日月、▽陸月、彌生、如月、卯月

▽呂二五、▽呂二九、▽呂三〇、▽呂三一、▽呂三二、▽呂六〇、▽呂六一、▽呂六二、▽呂六六、▽呂六五、▽呂六七、▽伊六五、伊六六、伊六七

▽初雁、真鶴、千鳥、友鶴

敷島▲、早鞆、鶴見、野島、室戸

(白露)、(伊七〇)

【長崎】羽黒、足柄、出雲

(三隈)

【有明灣】山口城、扶桑、△榛名、伊勢、△長良、名取、五十鈴、△阿武隈、△多摩、△龍驤、

鳳翔、神威

△初霜、初春、子日、若葉、△長月、水無月、

皐月、文月、△疾風、追風、朝風、夕風、

△松風、朝風、春風、旗風、△楡、柿

△伊二、伊一、伊三、△伊五、伊四、伊六

問宮

【馬公】△汐風、夕風、島風、灘風

【鎮海】△葦、葦、菱

【旅順】△藤、葛、萩、薄

【青島】球磨

【上海】△磐手、鳥羽、對馬、二見

【南京】熱海

【漢口】浦風

【漢口】堅田

栗、梅

【長沙】保津

【宜昌】比良

【重慶】勢多

【馬尼拉】朝顔

【廈門】芙蓉

【汕頭】△蓮、蓬

【廣東】

驪嶼、凝

△沼風、野風、神風、波風、澤風、潮

膠州、青島、隱戶

【航海中】

佐多 (一日「ホノルル」發—横須賀へ)

洲崎 (四日羅府發—「ホノルル」へ)

襟裳 (六日吳發—「オハ」へ)

△天霧、朝霧、夕霧 (八日別府發—横須賀へ)

△安宅 (九日南京發—上海へ)

△龍田 (九日馬公發—「バイアス」灣へ)

淺間 (九日「トラック」發—「サイパン」へ)

△島海、高雄、摩耶、愛宕、△青葉、衣笠、古鷹、

△神通、△山良、長鯨、△響、雷、電、△漣、曉、

狹霧、△綾波、敷波、浦波、△東雲、磯波、吹雪、

△伊五四、伊五三、伊五五、△伊六〇、伊五九、

伊六三、△伊六一、伊六二、伊六四、鳴戸 (九日

宿毛發—別府へ)

嚴島 (九日長浦發—作業地へ)

蓼 (九日汕頭發—馬公へ)

刈萱 (九日廈門發—馬公へ)

△八雲 (十日「トラック」發—「サイパン」へ)

(部内限六頁)

# 海軍公報

第二千五百十號

海軍大臣官房

昭和十年七月十一日(木)

## ○通牒

官房第三〇〇六號

昭和十年七月十一日

海軍省 副官

關係各廳長殿

圖書館學講習會講習員派遣ノ件照會

首題ノ件ニ關シ左記ノ通照會有之候ニ付テハ該事務ニ  
從事スル者(判任官以上)ニシテ聽講ヲ要スル者アラ  
バ其ノ官氏名ヲ第一ノ分ニ對シテハ本月二十日迄ニ第  
二ノ分ニ對シテハ八月十日迄ニ人事局ニ到達スル様通  
知相成度尙旅費ハ配付豫算内支辨ニ有之候

記

(別紙)

發社一五五號

昭和十年七月四日

文部次官 三邊 長治

海軍次官 長谷川 清殿

圖書館學講習會開催ノ件

今般別紙ノ通本省主催ノ下ニ首題ノ講習會ヲ開催可致  
ニ付貴管下學校圖書館員中聽講希望ノ向アラハ各開會  
五日前迄ニ其職氏名ヲ御回報相成度

文部省 主催 圖書館學講習會

第一、(名古屋市)

一、會 場 第八高等學校

一、會 期 自八月一日 五日間  
至八月五日

一、講義題目及講師

圖書館通論 帝國圖書館長 松本喜一

圖書館管理法ニ就テ 市立名古屋圖書館長 阪谷俊作

圖書分類法 和歌山高等商業學校圖書課主任 鈴木賢祐

圖書目錄法及實習指導 京都帝國大學司書 天野敬太郎

社會教育概観

文部省社會教育官 森 明 磨

一、講習員資格及定員

公共圖書館員、學校圖書館員、其他學校ノ校長、  
教員 約一〇〇名

二、講習期間中研究會、實習及見學ヲ行フ

第二、(札幌市)

一、會 場 北海道帝國大學

一、會 期 自八月二十一日 五日間  
至八月二十五日

一、講義題目及講師

圖書館通論 帝國圖書館長 松 本 喜 一  
圖書選擇法 同 同

學校圖書館ノ經營ニ就テ 柴 田 定 吉  
北海道帝國大學司書官

農學名著解題 高 倉 新 一 郎  
同

日本精神ニ關スル文獻 樟 本 成 美  
同 豫科教授

郷土誌料ノ蒐集整理 岡 田 健 藏  
同 函館市立圖書館長

(未 定)

北海道帝國大學圖書館長 上原 轍 三 郎

社會教育概説

東京文理科大學助教授 綿 貫 哲 雄

一、講習員資格及定員

公共圖書館員、學校圖書館員、其他中等學校ノ  
校長、教員 約一〇〇名

一、講習期間中研究會及見學ヲ行フ

○ 雜 款

○ 出 發

英國 海軍機關少佐 牟田 菊 雄 八月六日東京發  
出張 同 八月八日神戸發

獨國 海軍造兵大尉 近藤 俊 雄 八月八日神戸發  
出張 同

○ 滯在地變更

待命海軍中尉林 一夫ハ吳ヨリ横須賀へ滯在地變更ノ  
儀本十一日認許セラレタリ

退役海軍軍醫少佐正六位勳四等 自井 麟 本月一日  
千葉縣君津郡大貫町小久保三〇五八ニ於テ死去セリ

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○七月十一日午前十時調

【横須賀】

陸奥、夕張、金剛、春日、那珂、比叡、那智

沖風、峯風、矢風、隴、曙

伊二三、伊二四

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

富士、尻矢、知床

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

秋風、羽風、帆風、太刀風、天霧、朝霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九

浦賀(時雨)、(五月雨)

館山、木曾

大湊、大泊

吳

長門、矢矧、韓崎、日向、加古、勝力、大鯨、大井、天龍、白鷹

夕顔、菊、葵、初雪、白雪、白雲、薄雲、叢雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、呂六三、呂六四、伊二二、伊二二

伊五二、伊五一、伊五七、伊五六、伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一六、掃一五、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日

(最上)、(呂三三)、(伊七)

【大阪】(村雨)

【神戸】(伊六九)、(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【江田内】平戸

【別府】鳥海、高雄、摩耶、愛宕、青葉、衣笠、古鷹、神通、山良、長鯨、赤城

響、雷、電、漣、曉、狹霧、綾波、敷波、浦波、東雲、磯波、吹雪、有明、夕暮

伊五五、伊五四、伊五三、伊六〇、伊五九、伊六三、伊六一、伊六二、伊六四

鳴戸

【舞鶴】吾妻、川内、鬼怒、若竹、吳竹、早苗

呂二六

【佐世保】(鴻)

加賀、霧島、宇治、妙高、能登、呂、迅鯨、北上、常磐、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、檜、檜、月、月、月

望月、三日月

呂三五、呂二九、呂三〇、呂三一、

呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、

呂六六、呂六五、呂六七、伊六五、

伊六六、伊六七

敷島、早瀬、鶴見、野島、室戸

(白露)、(伊七〇)

足柄、出雲

(三限)

【有明灣】山口、扶桑、伊勢、長良、名取、

五十鈴、阿武隈、多摩、龍驤、

鳳翔、神威

初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、

皐月、交月、疾風、追風、朝風、夕風、

松風、朝風、春風、旗風、楡、柿

伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊六

公、汐風、夕風、島風、灘風、刈萱、蓼

海、葦、菱

旅、藤、葛、萩、薄

青島、球磨

上海、磐手、安宅、鳥羽、對馬、二見

南京、浦風

漢口、堅田

栗、梅

【長沙】保津

【宜昌】比良

【重慶】勢多

【馬尾】朝顔

【厦門】芙蓉

【汕頭】蓮、蓬

【香港】嵯峨

【バイアス灣】龍田

【作業地】駒橋、淀、巖島

沼風、野風、神風、波風、澤風、潮

膠州、青島、隠戸

【航海中】

佐多 (一日「ホノルル」發—横須賀へ)

洲崎 (四日「維府發」—「ホノルル」へ)

襟裳 (六日「吳發」—「オハ」へ)

淺間 (九日「トラツク」發—「サイバン」へ)

八雲 (十日「トラツク」發—「サイバン」へ)

問宮 (十日「有明灣發」—「須崎」へ)

羽黒 (十一日「長崎發」—「佐世保」へ)

陸月、彌生、如月、卯月 (十一日「佐世保發」—「港外」へ)

初雁、真鶴、千鳥、友鶴 (十一日「佐世保發」—「富江」へ)

(附録一葉、部内限一頁)



